

# いたみ De 障がい者スポーツ

## 発信！！ふおーらむ 2018.1.26

平成 29 年度（公財）日本障がい者スポーツ協会委託事業

障がい者スポーツの振興には、地域の連携の中でも一般スポーツ団体との関係化が重要と言われて、その背景で当事者、指導者、関係組織と行政等の協働で「共生スポーツ」を願うところです。本事業は日本サッカー協会が取組む「グラスルーツ」を紹介いただき、地域における障がい者スポーツのヒントにつなげます。

2018年 1月26日(金)17:45開場・受付 開演 18:30-20:30  
会場 東J いたみホール 6F 中ホール(阪急伊丹駅徒歩3分)

無料



■申し込み・問合せ NPO 法人伊丹アスリートクラブ ☎ 072-781-3614



### 第1部 基調講演「地域スポーツ運営。課題解決のヒント」

**松田薫二氏** 公益財団法人日本坂サッカー協会グラスルーツ推進部長  
一般財団法人日本障がい者サッカー連盟専務理事兼事務総長  
日本サッカー協会（JFA）と障がい者サッカー7団体は2016年4月、「日本障がい者サッカー連盟」を設立。未だマイナースポーツで各々に組織を持つ障がい者サッカー。連盟と言うアライアンスを組んだことで競技の認知度向上や選手へのサポート活動をどのように展開していくのか？優良スポーツコンテンツである日本代表やJリーグを抱えるJFAがこれまでに培った経験値を活用するであろうことは想像に難くありません。そこには、私たち地域スポーツ運営のヒントが含まれてるのではないのでしょうか。

#### 【経歴】

1959年生れ、ヤマハ発動機に10年間勤めた後、1992年にJリーグに転職し、11年間Jリーグの様々な基盤整備に従事した。2004年以降は日本サッカー協会にて勤務。技術部、広報部、代表チーム部の部長を歴任し、指導者養成やエリート選手育成、広報、日本代表チームの運営等を行った。その後、2015年1月1日に新設されたグラスルーツ推進部の部長に就任。年齢、性別、人種、障がいの有無に関わらず全ての人がサッカーを楽しむ環境づくりを推進している。また、7つの障がい者サッカー競技団体と共に2016年4月にJFAの加盟団体となる日本障がい者サッカー連盟を設立し、その専務理事・事務総長も兼務している。



松田薫二 Kunji Matsuda

申込はコチラ

### 第2部 パネルディスカッション「現場力と先進事例」

- コーディネーター 種子田 穰氏（立命館大学スポーツ健康科学部教授）
- パネラー 松田薫二氏（日本障がい者サッカー連盟専務理事兼事務総長）  
石末龍治氏（ヴィッセル神戸アカデミーダイレクター）  
吉野真旨氏（伊丹市障害者スポーツ協会副会長）

「現場を知っている」チームや協会の運営における私たちの最大の強みと言えるのではないのでしょうか。そして地域スポーツは選手を輩出する唯一の源泉です。一方少子化超高齢化社会はスポーツにも影響を及ぼしています。こどもから高齢者、障害者のスポーツを普及発展させるには多くの課題があり、その中で競技の普及・振興をどのように定義し、どのように運営体制を構築し、マネジメントに取組んでいくのがいいのでしょうか？国内スポーツの方向性を交えながら討論します。



見る・触れる障がい者スポーツ！  
会場ではパラリンピック写真展並びに障がい者スポーツ用具が展示されます。

主催 (公財)兵庫県障害者スポーツ協会 伊丹市障害者スポーツ協会  
後援 伊丹市教育委員会 伊丹市体育協会 NPO 法人伊丹アスリートクラブ  
協力 ひょうご障害者指導者協議会 障害者スポーツネットひょうご